平成２９年度第３回千葉市地域公共交通会議議事録（議事要旨）

１　日　時

平成２９年１１月２４日（金）　１４時００分～１４時３０分

２　場　所

千葉中央コミュニティセンター３階　調停室

３　出席者

（構成員）日本大学　名誉教授　榛澤芳雄
千葉中央バス株式会社　営業部乗合担当係長　中川拓生
㈳千葉県バス協会　参与　花﨑幸一
㈳千葉県タクシー協会　専務理事　土屋信乃夫
千葉市中心市街地東口エリア循環バス運行協議会　会長　竹内惠智郎
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局　首席運輸企画専門官　中村光秀
千葉市建設局土木部　部長　斉藤　平
千葉県警察本部交通部交通規制課　警部補　太田良照寿
千葉市都市局都市部　部長　松本真吾
千葉市都市局都市部都心整備課　課長補佐　大木戸孝也
（事務局）千葉市都市局都市部交通政策課　課長　佐々野晋一
主査　水上功　　他

４　議題及び議事要旨

（１）千葉市中心市街地東口エリア循環線の変更

事務局から資料に沿って説明し、以下原案のとおり連絡調整が調った。
①路線長が３．００ｋｍに延長する（変更前２．８０ｋｍ）。
②停留所を３箇所新設する（変更前７箇所）。
③上記に伴いダイヤが一部変更となる。

【主な質問・意見及び回答】
（千葉市建設局土木部）
「千葉銀座通り」停留所予定地にある駐輪場は、撤去若しくは移設のどちらになるか。
→事 務 局：撤去する。対象は停留所予定地に隣接する８台分となる。

(㈳千葉県タクシー協会)

「千葉駅２１番降車場」停留所は、現在複数の高速バスの停車場となっているため、車両が輻輳する場合がある。

今回、新たに千葉市中心市街地東口エリア循環線が停車するにあたり問題ないか。後方のタクシー乗り場など、周辺に影響はないか。

→㈳千葉県バス協会：共用するバス会社間でダイヤ等を調整の上運行することとなる。

(千葉市中心市街地東口エリア循環バス運行協議会)

運行当初においては、千葉市中心市街地東口エリア循環線の利用者は６０～８０人／日であったが、宣伝活動等もあり最近は１１０人／日程度まで数字が伸びた。

運行については適宜検討をしており、この度は利用者や町内自治会を対象にアンケート調査を行った。

当該バスに対する満足度は全体として高く、「便利であるため今後も継続的に運行してほしい」、「綺麗なバスで気持ちが良い」など肯定的な意見が多かったが、一方で、「バス停が分かりづらい」、「運行本数を増やしてほしい」といった意見も見られた。

今後も利用者の意向を汲み取り運行を行っていきたい。

また、今回の変更で「きぼーる前」停留所を新設するが、中央区役所のきぼーるへの移転を意識しての計画である。